

合唱部

仙台でボランティア活動を行いました

合唱部は、2011 年の東日本大震災で大きな被害を受けた仙台市と名取市で今年 3 年目となる、ボランティア演奏会を行って来ました。

洗足学園中学高等学校では、4 月にチャリティコンサート、8 月に弦楽合奏部による大船渡市へのボランティア活動、9 月の文化祭で大船渡市の物産展、東京タワー下で行われる大船渡のさんままつりへの合唱部参加など、東日本大震災の復興に向けた行事を主催・参加してきました。洗足学園中学高等学校はこの震災を忘れず、今後もできることを続けていきたいと考えています。

以下は、ボランティアに参加した合唱部員の感想です。

昨年や一昨年より東日本大震災の被害のことを知ることができ、とてもよい経験ができた。津波がどれくらいの速さで襲ってきたかなど、映像を見たり現地の方の説明を聞いたりすることで、イメージをふくらませることができた。

また昨年までは何もなかったところに家が建っていたり、放射線濃度も昨年より下がっていることを聞いたりして、復興が進んでいることも感じる事ができた。

しかし、まだ「心」の復興が進んでいない被災者の方もたくさんいると思うので、わたしたちができることが歌うことで少しでも「心」の復興が進めばよいなと思った。

現地の方々が笑顔で楽しそうに聞いてくださって、とてもあたたかいコンサートになることができたと思う。最後に全員で歌った「プレゼント」、「翼をください」は全員の声がそろっていてとても感動した。

